

第一二三回
川崎市定期能

能と狂言



二部:能「賀茂素働」角当 行雄
撮影:宮本 宏



一部:能「百萬 法楽之舞」角当 行雄
撮影:吉越 研

第一部

狂言

福の神

【ふくのかみ】

三宅 右近(和泉流)

12時30分開場
13時00分開演

能

百萬

法楽之舞

角当 行雄(観世流梅若会)

【ひやくまん ほうらくのまじ】

第二部

狂言

茶壺

【ちやつぼ】

三宅 右矩(和泉流)

15時00分開場
15時30分開演

能

賀茂

素働 【かもしらはたらき】

梅若 玄祥(観世流梅若会)

◆平成29年12月9日(土)
◆会場:川崎能楽堂
◆入場料:各部 4,000円
(全席指定) U25 3,000円

※座正面・中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方、購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

【チケット発売日】 平成29年11月1日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順) *残券があれば、同日正午より電話・ホームページでも販売いたします。

【チケット取扱】 ①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 (9:00~17:00)

②川崎市文化財団ホームページ <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20171209/>

*初日のみ電話・ホームページでの受付は正午から。窓口発売の際は受付いたしません。

*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。

【お問い合わせ】 川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 (9:00~17:00)



主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が
実演つきでわかりやすく解説します。
英語による解説も対応可。

◆日時:平成29年11月22日(水)11:00から
◆会場:川崎能楽堂

角当 直隆(観世流梅若会・シテ方)
伶以野陽子(観世流梅若会・シテ方)

◆定員:148名(先着順)
◆料金:無料

*第112回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

狂言 福の神 シテ福の神 三宅 右近 アド参詣人 三宅 右矩 アド参詣人 三宅 近成

子方百萬の子 山中つきの シテ百萬 角当 行雄

能 百萬 ワキ里人 大日方 寛 大鼓 大倉慶乃助 太鼓 林 雄一郎 法楽之舞 アイ清涼寺門前の者 前田 晃一 小鼓 田邊 恭資 笛 栗林 祐輔

後見 河本 望 内藤 幸雄 坂 真太郎 山中 迺晶 地謡 川口 晃平 味方 團 坂口 貴信 田茂井廣道

狂言 福の神【ぶくのかみ】

大晦日の恒例として神社で豆まきをするのを恒例としている二人の男が福の神を祭る社に出かけます。二人が参拝し、年越しの豆をまいていると、福の神(シテ)が現れます。福の神は二人に酒をふるまうように要求し、応える二人に幸福になる秘訣を伝授します。

能 百萬 法楽之舞【ひやくまんほうらくのみい】

大和国吉野の男(ワキ)が、西大寺のあたりで一人の幼い子(小方)を拾い、大念仏で賑わう嵯峨野の清涼寺を訪れます。門前の男(アイ)に何か面白いものはないかと尋ねると、百萬という女物狂いが面白く音頭をとるといので呼び出してもらいます。やがて門前の男の念仏に誘われて百萬(シテ)がでてきて、念仏の音頭をとって踊ります。そして仏前に進んで、わが子に逢わせてほしいと祈ります。すると子供はあれこそ自分の母親だといので、男はそれとなく百萬に事情を問いたですと「夫に死に別れ、子供は生き別れたためこのように思いが乱れたのだ」と語り、奉納の舞をまいます。男は間違いなく子供の母親であると思い、母と子供を引き合わせます。百萬は深く喜び仏の徳をたたえ再会を喜びます。

狂言 茶壺 シテすっぱ 三宅 右矩 アド目代 三宅 近成 アド中国の者 高澤 祐介

ツレ里女 河本 望 前シテ里女 角当 直隆 後ツレ天女 梅若 玄祥 後シテ別雷神

能 賀茂 素働 ワキ神職 大日方 寛 大鼓 大倉慶乃助 太鼓 林 雄一郎 ワキツレ従者 野口 能弘 小鼓 田邊 恭資 笛 栗林 祐輔

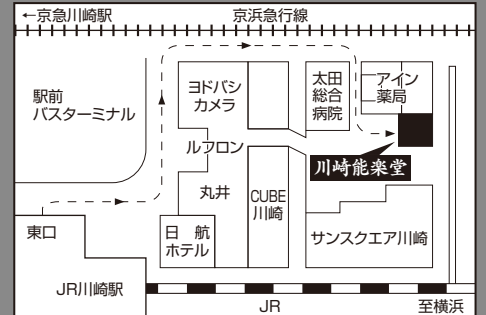
後見 小田切康陽 内藤 幸雄 坂 真太郎 角当 行雄 地謡 川口 晃平 山崎 正道 山中 迺晶 丸井 航 ホテル 鈴木 啓吾

狂言 茶壺【ちやつぽ】

中国地方に住む男が、茶の葉を入れた茶壺を背負って帰る途中、酒に酔って眠りこんでしまいます。するとそこにすっぱ(詐欺師)が現れ、茶壺を自分のものにしてしようと一計を案じます。肩紐に手をかけ、目覚めた男に自分の物だと主張して……。

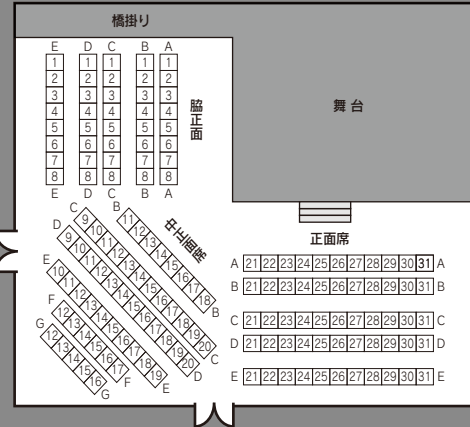
能 賀茂 素働【かもしらはたらき】

播州(兵庫県)の室の明神に仕える神職の者(ワキ)が京都へ訪れ、室の明神と御神体が同じという賀茂の社に参詣します。するとその川辺に祭壇が築かれ白羽の矢が立てられているので、ちようとそこへ水を汲みにやってきた二人の女(前シテ、前ツレ)にその謂われをたずねます。女は、昔この里に住む秦の氏女が、川の上流から流れてきた白羽の矢を拾って持ち帰り庵の軒にさしておいたところ、懐妊して男の子を生んだこと、そして実はその子が別雷神で、生母と矢とともに賀茂三所の祭神となったことを語り消え失せます。(中入) やがて御祖神である天女(後ツレ)が姿を現し舞をまい、つづいて別雷神(後シテ)が出現して雷雨を呼び起こして神威を示します。やがて天女は糺の森へ、別雷神は虚空へと飛び去っていきます。



JR川崎駅東口より徒歩5分 ■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。 川崎能楽堂 〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37 TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

平成30年1月6日(土)14時開演

野村万蔵による芸能サロン 『狂言を楽しもう』

出演:野村万蔵 ほか

平成30年3月25日(日)

第一・二・三回川崎市定期能 『金春流』